

浮島校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成27年8月24日（月）19:00～20:40

場所 浮島公民館

参加者数 男 32人 女 7人 合計 39人



質疑応答（要約）

1. 連合自治会共通の市政課題

「健康都市づくりについて」

..... 福祉部長 説明.....

特になし



2. 意見交換

4グループに分かれ、それぞれ決められたテーマについて、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

Aグループ（浮島） __ 「自治会加入促進」

Bグループ（浮島） __ 「地域の少子化対策」

Cグループ（松の木） __ 「自治会加入促進」

Dグループ（松の木） __ 「若者が活躍できるまちづくり」

意見交換の流れ

- ① 自己紹介（名前足し算）
- ② “テーマ”を実現するために足りない事（なぜ実現できないのか）
- ③ “テーマ”を実現するためにすべき事（自分たちで何ができるのか）
- ④ 席替えし、新メンバーで話し合い
- ⑤ 元の席に戻り、再度話し合い
- ⑥ 各グループ発表

各グループから出た意見は次のとおりです。

テーマ	意見
自治会加入促進（浮島） 	<p>なぜ実現できないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい家屋が少ない ・近所のことしか分からない ・役員になりたくない ・祭りが嫌い ・加入する（している）メリットがはっきりしない ・近隣とのコミュニケーションが少ない ・役員になるのが嫌 ・高齢だが、自治会の組長にならされるのが嫌 ・高齢者の退会が面倒 ・地域に馴染めない ・若者の加入離れ ・人とのつながり ・自治会活動が面倒 <p>自分たちで何ができるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の役員の免責を検討する ・ごみ処理など、自治会に加入しなくても出来ることを、出来ないようにする ・<u>大勢が集まる楽しいイベントを行う</u> ・自治会加入で嬉しいメリットが提供される

	<ul style="list-style-type: none"> ・未加入者に加入するよう気長に説得する ・加入のメリットを見つける（人との絆を深める） ・住宅地図を使い、加入調査をする ・未加入者宅に行き、自治会加入のメリットを説明し、加入を依頼する ・未加入者に加入しない理由を聞く ・あいさつ運動をする ・近隣との付き合いを活発にする ・役員による高齢者パトロールでコミュニケーションを図る ・新家・分家の調査 ・自治会の宣伝
<p>地域の少子化対策（浮島）</p> 	<p>なぜ実現できないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家が解消されていない ・女性が強すぎる ・豊かな生活を望むために、金のかかる子育てを望まない ・秋祭りの平和運行が心配である ・結婚したら校区外に出てしまう ・親との同居を嫌がる ・若者の仕事先が少ない ・若者が少ない ・若者が住む宅地が少ない <p>自分たちで何ができるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者世帯を積極的に応援する（あいさつを積極的にする） ・若者が集まる<u>機会の提供（出会いの機会）</u> ・青年部活動を応援する ・秋祭りの平和運行を徹底し、だれでも集まりやすい太鼓台をつくる ・子どもたちが<u>団体で行動できるイベント等を積極的に</u>行う ・会社を増やす ・子どもを地域で育成 ・若者が住んでみたい地域をつくる ・子どもが安心して遊べる施設をつくる ・<u>浮島に住めば子どもが生き生きとできる場づくり</u>

<p>自治会加入促進（松の木）</p> 	<p>なぜ実現できないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入のメリットが理解されていない ・自治会のメリットを要求する人がいる ・若者が加入を面倒だと感じている ・自治会の役を嫌がる ・若者が引っ越してきても自治会に入らない ・近所付き合いが無くなってきている ・亡くなって、家に誰も居なくなる ・高齢者が増えている <p>自分たちで何ができるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した時のことを考えて、加入を強制する ・近所であいさつ運動をする ・自治会役員等が明らかにできない世帯への配慮が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ回収を有料化し、自治会加入者と未加入者で別料金を設定する ・未加入家庭への呼びかけについて、組内で集まって、食事会等をして加入を呼びかける ・<u>各種イベントを企画し、楽しい場を提供する</u> ・実際にどれだけの若い家族がいるのか、数字として出してみる ・加入していればメリットがあることを知ってもらう（資料の配布等） ・コミュニケーションを図り、加入を呼びかける ・未加入者宅へ訪問し、加入を依頼 ・新築して来た人に、自治会の宣伝をする
<p>若者が活躍できるまちづくり（松の木）</p> 	<p>なぜ実現できないのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く場所がない ・情報過多でボランティアに思いがいたらない ・子育てに忙しい ・仕事が忙しく、自治会の事をするのが億劫（時間がとれない） ・生活できる給与体系でなく、勤務時間の短縮ができない ・地域愛、郷土愛がない ・太鼓祭りが充実していない ・同年代の友達（仲間）が少ない ・現在は老人対策に力を入れており、若者への施策がない <p>自分たちで何ができるのか</p>

- ・新居浜に定住できる仕事場をつくる
- ・子育て世代への親への教育（子育て教育）
- ・活躍してほしい事、手伝って欲しい事を若い人に提案する
- ・地域で子育てできる体制づくり
- ・若者が集まれる環境をつくる（スポーツクラブ、太鼓台等の援助）
- ・地域行事に若者の意見を取り入れる
- ・若者の奥さんも出てきてほしい
- ・公園等の充実（ベンチ、ゴミ箱、遊具の設置）
- ・若者主体の地域行事（太鼓台以外）



リーダー、若者に、グループで話し合った内容を発表していただきました。全てのグループで共通して出てきた課題が、“皆が集まれる場をつくる”ということでした。

3. その他

【質問】

経済の再生とおっしゃっていましたが、具体的にどうなるのですか。

【市長】

再生というよりも、経済の活性化のほうがいいかもわかりませんが、最近、アベノミクスの影響で景気も少し回復してまいりました。私が、経済の再生といったときは、まだまだ活性化が望まれる状況で、新居浜市の地域経済、企業を積極的に誘致し、企業活動が盛んになるよう、地域経済を活性化していきたいという思いでございます。

【質問】

新居浜を県外にアピールし、新居浜に住んでみようと思うというような経済をお願いしたいと思う。

【市長】

今から取り組もうとしております地方創生が、まさにそのことです。これからは、全国的に人口が減っていく中で、少なくとも人口の減少を止める。そのためには、若者が帰ってきてくれるような魅力あるまちにしなければならないと思っている。

【質問】

特に浮島から松の木までの間の垣生沢津海岸の砂が浸食され、先日の台風でも危険な状況のところもありますので、補強策を考えていただきたい。

【市長】

この問題もいろいろなお話を聞いております。護岸につきましては、東予地方局の建設部で管理をしている海岸で、一度は、現場を見ていただいて、今直ちに問題はないということできておりますが、何かあれば、消波ブロックや砂を留める防波堤を設置するなどの対策を講じられるよう常に監視をしていただきたいと思います。もし危険な箇所等が見受けられましたら、お知らせいただきたいと思います。



